

柔道ルネッサンス(近代柔道杯)

2005年3月27日 東京武道館にて

対象:中学生及び指導者、保護者

皆さん、おはようございます。

私は先ほどご紹介いただきました、柔道ルネッサンス委員の中田と申します。

試合前非常に緊張している時だとは思いますが、少しお時間をいただき、お話をさせていただきます。

さて、早速ですが皆さんに質問です。柔道ルネッサンスという言葉はどこかで見たか、聞いたか、聞いたことのある人は手を挙げてください。沢山いますね。ありがとうございます。最近良く耳にするこの柔道ルネッサンスとは、実際にどのような活動をしているのかと申しますと、例えばこのような全国各地の大会を通じて皆さんに知ってもらうためのスピーチ活動。また、大会で使用した道場や体育館にごみを残さないよう綺麗にして帰ろうというクリーンアップ活動。そして最近では、昨年新潟を襲った中越地震の被災者のために、募金活動を行ったりと幅広く、様々な活動に取り組んでいます。そしてこの活動、皆さんに何を願いたいかと申しますと、そんなに難しいことをではありません。柔道を志すものであれば当然出来てあたりまえのことを、あたりまえにやろうと呼びかけております。それはどうゆうことかと申しますと、柔道は、一人で強くなることも出来なければ、一人では辛いことや楽しいことを味わうこと、感動したり、涙を流したりすることはありません。柔道は、相手がいるから、仲間がいるからできる武道であり、スポーツです。つまり、皆さんは多くの友達や家族、色んな人に支えられ生活を、柔道をしています。ですから相手にきちんと礼をする。先生にしっかりと挨拶をする。友達や家族に感謝の気持ちを持って接する。あたりまえのことのようですが、やはり柔道を志す上において大切なのは、人を思いやり、相手を敬う心にあります。

今日の試合にも世界の国々から参加してくれておりますが、現在、柔道は世界186カ国以上の国と地域の人々に愛されるスポーツです。そして、その多くの国々ではスポーツとしてだけではなく、学校教育や人間教育に取り入れられているそうです。このような、世界でも例を見ないほどの素晴らしい競技に出会えた皆さんは、とても幸せなことだと思います。そして、試合の勝ち負けだけでなく、様々なことを経験し、吸収して、周りから尊敬されるような柔道選手になってくれることを期待しております。

終りになりましたが、この後の皆さんの奮闘と活躍にエールを送るとともに、皆さんの輝かしい未来を期待して、私のスピーチとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。